

目標達成計画

作成日: 平成30年 6月27日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議においてかつては利用者・家族の会議への参加があったが、最近は難しくなっている。 今後事業所行事との合同開催や、議事録を配布して家族の理解と参加促進を図るなど工夫して、参加を得ることを望む	家族や利用者に運営推進会議に出席して頂く。	家族に運営推進会議の案内、議事録を配布し関心を持って頂き、おひとりずつでも参加して、頂くようにする。	24ヶ月
2	35	現在行っていない夜間想定避難訓練や地震対応の訓練と、2階の障がい者施設との合同訓練を実施するとともに、備蓄品を出来るだけ充実することを望まれる	夜間想定と地震時の対応訓練と2階の障がい者施設との合同の避難訓練を実施する。 備蓄品を充実させる	夜間災害時、地震時の職員の対応の手順と注意する点をまとめ、マニュアルを作成する。 備蓄品チェックを行い、3日分の水と食料を常備する。	12ヶ月
3	49	外に出たがらない人もいる中、事業所内で過ごすことが多い状態であり、日常的に近隣の散歩や外気浴をすることは、気分転換やストレスの発散にとって大切な習慣と思われる。家族や月数回訪問のボランティアなどの協力を得て外出を支援する体制の構築が望まれる。	外出する機会を増やす。	スタッフの数の問題や、利用者の重度化もあり、複数人での外出は難しいが、1対1で気候のよい日に出来るだけ外気浴に出かける。 家族様にも声掛けし、外出の機会を持って頂く。	24ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。